



ゆり北

第76号（8期第3号）

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

夏まつりの御案内

日時 平成2年8月25日（土）
午後3時～9時30分
8月26日（日）
午後2時～8時30分

会場 ゆりの木商店街とその付近

主催 90ゆりの木夏まつり実行委員会
（ゆりの木北自治会・ゆりの木通り商店会で構成）

雨天の場合も決行します。但し規模を縮小して行うことがあります。

会員の皆様には、自治会より「お楽しみ券」を8月20日ごろ配布します。尚、商店会ではお買い上げに対応して「お楽しみ券」を差し上げます。

期間中、安全確保のため「ゆりの木通りの通行止め」と、駐車場の出入りには「一方通行の解除」を行う予定です。時間などは別にお知らせいたします。

13号棟ピロティの自転車の移動をお願いします。

実行委員（当日だけの委員でも可）を募集しています。子ども達と共に夏休みの思い出を作りませんか。

「夏休みのフィナーレ」

今年も楽しいゆり北夏まつり！

「みんなでつくろう夏の思い出」

—— 昨年は雨にたたられ「ショボイ」夏まつりになりましたが、今年は是非とも夏の太陽のもとで、やりたいな！ 皆様もどうか祈ってみて下さい。 ——

梅雨明けの声を聞くと、こどもたちは楽しい夏休みです。最近はお父さんにも「夏休み」がある会社も多くなりました。皆さんどんな計画をお持ちですか。今年は「アーバンライフゆりの木通り東」団地建設のため、恒例のミニミニキャンプも中止となり、何か物足りない夏休み突入となりましたが、その分夏まつりを十二分に満喫して下さい。当自治会では恒例となった『90ゆりの木夏まつり』の準備を開始いたしました。実行委員会に皆さんのご参加をお願いします。

特にこども達の参画を期待しております。

今年もやってくる『サウンド・ブレイカーズ』

他の団地にはない大編成のJAZZバンドが、土曜・日曜の2日間4ステージを演奏します。生ビールを飲みながらちよつと踊りたくなるような気分です。

こどもたちが頑張る人形劇「赤い手袋とシンデレラ」

団地中心に活動している、のびのび子供会が夏休みの活動の仕上げとして昨年に続き、土曜日に登場します。ご声援下さい。

その他、笛・太鼓の演奏、和太鼓・くろんぼ大会などをステージで行います。

騒音・大気汚染とも

基準内の水準

— 自動車公害調査結果より —

光が丘公園側に位置する三〇二、三〇三道路の騒音や大気汚染に関して、自治会では板橋区の公害対策課に測定を要請していましたが、このほど調査結果がまとまりました。

その騒音測定は公園入口の信号（二号棟前）近くで、大気汚染測定は新町小学校寄りの地点で行ったものです。いずれも環境基準内の数値であることがわかりました。ただ、大型トラック等の通過が多くなり、交通量も増大してきていますので、引き続き注意していくことにします。

（環境防災部）

◎二酸化窒素（NO₂）、一酸化炭素（CO）の測定結果

項目 月日	二酸化窒素（NO ₂ ） 1時間値の1日平均値	一酸化炭素（CO） 1時間値の1日平均
6/11	0.024ppm	1.9ppm
6/12	0.029ppm	2.4ppm
6/13	0.024ppm	2.2ppm
6/14	0.027ppm	2.2ppm
日 平均値	0.026ppm	2.2ppm
環 境 基 準	0.06ppm	10ppm以下

単位：ppm

以上の結果、すべての日において環境基準内となっています。

ンドック・焼きとり・ラムネ・かき氷などの「模擬店」で「まつり」の雰囲気盛り上げます。会員有志のお店も出ます。
お楽しみコーナーでは「竹細工」も準備しています。作って遊ぶコーナーに幅を広げたいと思います。
こども実行委員会も活躍
子供みこし・お楽しみコーナーにこどもたちが活躍します。四年生以上のお友達の参加を募っています。



◎騒音の測定結果

区 分	測定値	要請基準2車線超	時間帯（要請）
朝 平均値	59ホン	70ホン	6時～8時
昼 平均値	62ホン	75ホン	8時～19時
夕 平均値	59ホン	70ホン	19時～23時
夜 平均値	52ホン	60ホン	23時～6時

単位：ホン（A）

以上の結果、すべての時間帯において要請基準内となっています。

狭い駐車場なんとかならないの！

昨年度の新聞討論でも題材にしましたが、「駐車場スペース」の問題はなかなか簡単には解決しづらいことは充分承知していますが、本団地だけではなく光が丘全体がかかえる問題にまで発展してきました。

テレビを含むマスメディアは、おもしろがって光が丘の駐車場の狭さを報道し

ています。二十一世紀を先取りしたタウンというイメージで住民を集めたものの、人が住み、快適性を追求する段になって、こういう欠陥が露呈することになってしまったわけですが、本当に何んとかならないの！

広報部よりのお知らせ

七月号の発行が当部の都合で大変遅れたことをお詫び申し上げます。

子どもの笑顔が はじける町に

一号棟 北村 優治

子どもたちが、学校の終わった放課後、どんな生活をしているか不安になることがある。たいがい彼らとのコミュニケーション不足を実感して「何とかしなければ」と思うときなのだが、特に家の中で遊んでいるのびのび遊べていない」と感じ、地域の中で子どもたちの位置などというものに関心が向くことがある。

「子どもがいなければ地域は育たない」といわれるが、『地域』が文化と歴史を継承・発展していくものなら、子どもは正にその担い手となり、お年寄りを含めた大人は、その伝承者でなければならぬ。果たしてこの『ゆりの木』の文化とは何だろうか。

私たちは(それなりに)文化的な生活を目指しているのだと思うが、



一日を長時間過密労働に占領され、家族と地域という生活の基盤になる部分の交流が、不足していることを強く感じる。この交流は地域文化を育てる血液のようなもので、交流なくして地域文化の発展もないとおも

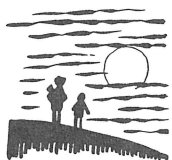
者会に出席したとき、「クラブ前のピロティーで遊んでいるのがうるさい」と、児童館長のところに苦情が入り、子どもたちは即刻クラブの中に戻されてしまった、という話を聞いて、かなりショックを受けた。

たしかに子どもたちの声は「うるさい(?)」かもしれないが、その時から一五二㎡の育成室に閉じ込められた定員七〇名の子どものたちはどう思っているだろうか。指導員の先生は「せめて外遊びに行く前に整理するための三〇分間くらい、使わせ

シリーズ故郷紹介

信州佐久

十四号棟 堤 達



私の故郷は、長野の佐久です。長野県というところは、北信、東信、中信、南信と分かれていて、(鉄道の図を見ただけでも分かると思います)結構それぞれが張り合っています。特に明治の頃は、北信、東信が長野県で、その他が筑摩県だったも

てもらいたい」と希望されていたが、子どもたちの本音は「せっかく自由遊びができる場所だったのに!」と不満を感じているのではないだろうか。

「ゆり北」が新しい地域の担い手となる子どもたちにとって、放課後のひとときのびのびと過ごせる、明るくて、心の許せる地域であってほしいと思う。そのためにはもっとさまざまな交流があって良いのではないかと思う。もう少し大人の寛大さが必要ではないか?と思う。

のですから、今だに長野と松本はソリがあわず、対抗意識丸出しのところがあります。そんなわけで、「佐久」も、中信、南信の人たちからは「抜け佐久」「日本のチベット」などと馬鹿にされることもあったようです。大体、長野からして余所から見れば、全部がチベットそのものであります。でも、

列車を誘導しています。先ごろ、この区間が、新幹線整備の見返りとして廃止されることになったようですが、あれがないと信越線に乗った気がしません。残念です。

ところで、信越線の起点と終点はどこにいますか?高崎、長野、長岡、新潟です。これにひきかえ、上越線は高崎、宮内でしかないので、これを見て、歴史の経緯が分かるというものです。

の国は、長野県には、「信濃の国」という歌があり、これを知らない人間は、長野県人ではないという不文律があります。このわたしに



たぶん、日本でも、二番目か、三番目に電化された区間だと思えます。アプト式という鉄道ファ

け、曲想ががらりと変わっていて、全部で十番までだったと記憶しています。小学生の運動会の最後の方に決まって女の子だけでこの歌をパッ

で、です。その歌たるや、どこぞの古めかしい大学、高校の校歌と同じく、自己賛美に徹しているものなのです。日本人は出身校を聞かれると、それが有名であればあるほど、「一応ですが」などとへり下るくせに、校歌だけは、暴走族顔負けのツッパリだから困ってしまっています。

その信濃の国一番は「信濃の国は十州に境連なる国にしてそびゆる山はいや高く、流れる川はいや遠し、松本、伊那、佐久、善光寺、四つの平は肥沃の地」と続くのです。いやいや、いま書いていてもすさまじい。四つの地方の葛藤、対抗意識を統合のエネルギーに祭り上げ、争いをあらかじめ除去し、あまり肥沃でない土地(火山灰地)を肥沃の地と言い包める、むしろ憎めない欺瞞、何よりも、山が高く、川が長いのを手柄のように言っている小児根性、後進性。でも、「山低く、川短し、四つの平らは痩せた土地、志はあくまで低く」などという歌はどこを探してもないのも事実です。

最近になって、この歌に対する抵抗がやっと薄れてきました。どうせ大ボラ、駄ボラを吹くなら、打ち上げ花火のように、景気が良く罪のないに限る、と思いついたのです。長野県人の皆さんたまには酒を飲んで、この歌を歌い、憂を晴らすのではありませんか。

編集後記



今年の「つゆ」は雨が少なく本当の「カラツユ」という感じで終了しましたが、今年もジメジメと雨の多い夏になるのではないかと心配です。会員の皆様も夏休みの活動プランを作成したかと思いますが、このプランを建てることほど楽しいことはないはず。エンジョイしてね!

私の十八番

気がるにアーチェリーを!!

一号棟 熊倉 美智子

この弓道場は、奇数日は洋弓、偶数日は和弓のために使われています。弓など付属品を借りて、一時間三百円で利用でき、初心者でも専門の指導員について教えてもらえます。

私が初めて弓を手にしたのは三年前でした。下の子が幼稚園に入り、少しは自由な時間が出来、何かスポーツをと考え、目新しさと姿勢が良くなるということにひかれ、友達と始めました。今だに、あまり上達せず、的の距離も遠くありません。でも弓を引いて矢を放つ、その緊張した瞬

間とそのあと矢を取りに行く、少し緊張のほぐれた時間、それは、さわやかな公園の空気を吸い、芝生を踏みながら矢の当たり方についてをめぐらす時でもあるのですが、その二つの繰り返しがいいと思うのです。もちろん、矢が的の中心にすっと入った瞬間の気分の良さはいうまでもありません。

技術的にはまだまだですが、気分転換になることや、上手な人を見て自分も遠くの的に向かって形よく矢を射るようになってい

思います。アプト式という鉄道ファ